

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)高槻子ども未来館	階数	地上3
建設地	大阪府高槻市八丁畷町184-3	構造	S造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,680 時間/年
建物用途	事務所、学校、病院、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2017年2月10日
敷地面積	5,699 m ²	作成者	株式会社 大建設 東岡正康
建築面積	3,040 m ²	確認日	2017年2月15日
延床面積	6,101 m ²	確認者	株式会社 大建設 東岡正康



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 85% (92 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 84%

④上記+ 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項	
<p>総合</p> <p>施設は、「待機児童解消・多機能保育」機能、「母子保健」機能、「子育て支援人材育成」機能を有した複合施設として計画します。また、隣接した安満遺跡公園と連携することで、子育て支援の強化を図り、子育て世代を中心とした定住人口の増加を目指します。</p>	<p>その他</p> <p>太陽光発電による自然エネルギー利用を行い、施設の一部に電源供給を行う。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>居室の開口部は複層ガラスとして、熱負荷低減のため「高遮熱断熱複層ガラス」(LOW-eガラス)、西面の一部には西日による日射熱負荷の抑制や日差し対策として、開口部にカーテンやロールブラインド等を採用し快適な空間とする。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>災害時には、保育エリアを利用した「緊急対応が必要な児童預かり」サポート、厨房を利用した「来庁者への食事の提供」、すこやか親子エリアでの「乳幼児の健康相談」機能、子育て人材育成エリアでの「保育スタッフの活動拠点」を検討する。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>自然エネルギーを積極的に活用するため、開口部には自然換気の導入や空調を行う居室の開口部は全てLOW-e複層ガラスとし、熱負荷の低減を図る。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型の衛生器具を採用、雨水の一部を植栽用散水に再利用し水資源の保護を図る。環境負荷の少ない自然材料、廃棄物などの再利用品や再生利用した資機材、低環境負荷材料(エコマテリアル)を内外装材や外構舗装材等に採用する。</p>
<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>雨水流出抑制に配慮する。また、地上部緑化、屋上緑化を積極的に行い、地域環境に配慮する。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>隣接する安満遺跡公園と一体になった開発により、景観・かたち・色・素材等の統一感を図り、歴史資産を活かした、にぎわいある都市景観づくりを計画する。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0149

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】		建物名称	(仮称)高槻子ども未来館					
		建設地	大阪府高槻市八丁畷町184-3					
		用途/区分	事務所 学校 病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.6	4		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	3.0	4			
			住戸・宿泊	3.0				
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						4.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						4.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						4.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.8
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容			スコア	評価		
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	2		
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0			
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			2.0			
その他								
先進的技術の導入		技術の名称		考慮事項				
		太陽光発電		自然エネルギーの利用を行っている				
特に配慮した事項								